

科 目 名		学年
経営工学IIB: Management Engineering IIB		5B
教 員 名 狭間 雅義 HASAMA Masayoshi		
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分
1	100分×15回	必修
授 業 概 要		学 修 単 位
経営情報学科で過ごした5年間の総まとめとして、経営工学の授業内容をグループに分かれて授業をしてもらう形式で行う。相手にわかり易く物事を伝えることを学び、内容よりもわかり易く伝える手段を身につけることを目的とする。社会や進学等で面接においても自分が学んだ内容がわかり易く伝えることができるようにする。		○
到 達 目 標		評 価 方 法
グループで授業をすることでどのようにすればわかり易く相手に伝わるのかを考えることで知識を幅広く習得できると共にビジョンが広がることを体感する。(授業の資料作成、資料に基づいた授業、質疑応答の3つ)		①中間試験(30%)、②期末試験(30%)③自学自習レポート(40%)によって評価する。
学 習 ・ 教 育 目 標		(E)②
		JABEE基準1(1)
		(d)-(2)
回	項 目	内 容
第1	経営工学IIBの概要	今までの総復習、2人～3人程度のグループで授業を80分行ってもらうためのオリエンテーション
第2	テーマのポイント	次週から授業をしてもらうためのポイントを話し決めた
第3	在庫管理	在庫管理に関する内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う
第4	線形計画法①	線形計画法の基礎的な部分の内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第5	線形計画法②	線形計画法の応用的な部分の内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第6	日程計画法	日程計画法の内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う
第7	中間まとめ	中間まとめとしてレポート試験を実施する。
第8	待ち行列理論	待ち行列理論に関する内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第9	需要予測	需要予測の内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う
第10	階層型意思決定法	階層型意思決定法の内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第11	ORに必要な数学的手法	ORに必要な数学的手法についての内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第12	経営工学の概要	経営工学の概要についての内容を学生たちが講義資料から講義内容までの一連の作業を行う。
第13	ORを経営、経済に応用する方法	この内容は抽象的な内容で難しいかもしれないが上記と同様な作業を行う
第14	この授業のまとめ	2年間で学んだことは活かすことができたのかを考察する
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。
自学自習の内容		各自で話し合って授業内容を決定する。
関連科目		ここまで習得した経営系や情報系科目
教科書		
参考書		
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。
副担当教員		
備考		わからないことはどんどん遠慮なく質問してください。